

Mandolin
Concert

With
H. A. M. C.

八瀬のかま風呂 空中風呂

名 泉 水 晶 閣
名 庭

御宴会
御婚礼
(和式・洋式) に皆様の水晶閣が
心よりお待ちしております

甲府市中央四丁目1-17

TEL (33) 3185 (代)
サイワイ

第 11 回

定期演奏会

山梨大学マンドリンクラブ

1973年11月2日(金)

県民会館大ホール

後援 山梨大学工学部学友会
山梨県教育委員会

協賛 山梨日日新聞社
山梨放送

◇ あいさつ ◇

山々も四季の移り変わりを見せはじめる今日この頃、ここに第11回定期演奏会を開催するに至りました。私達のクラブは13年前数名の先輩に創立されて以来、よき師、よき先輩に恵まれて、マンドリン音楽の普及、発展に努力してまいりました。

春・夏・秋の合宿や、日頃の練習を通じてクラブのあるべき姿を模索しつつ、さまざまな思考錯誤を繰返しながらそこに生じる葛藤や障害を、共に音楽を追求する若い情熱で乗り越えてまいりました。まだまだ人間的、技術的に未熟ではありますが、私達の意気込みをお汲みいただきましたら幸いです。

最後に常日頃から献身的な、御指導及び御協力して下さる比留間きぬ子先生、飯島国男先生はじめ諸先生方、先輩の方々、大学当局、学友会並びに関係各位に心から御礼申し上げます。

山梨大学マンドリンクラブ

部長 小林 誠一郎

◇ 第11回定期演奏会によせて ◇

東京比留間マンドリン音楽学院

比留間きぬ子

秀麗富士に見守られつつ、健やかに学び、且つ音楽の調べに情熱をかたむけておられる、山梨大学マンドリンクラブの方々の、夢である定期演奏会が本年も華々しく開幕されますことを心からおよろこび申し上げます。

昨年皆様方と協演させて頂いたことがつい昨日の様に懐しく、又、おもはゆきよみがえってまいります。秋も深まる城山の庭に佇んで老松を眺めて居りますと、小室山妙法寺の夏の合宿の事が想いたされ、皆様方のお顔や笑い声が身にせまっています。

飯島先生の良きご指導を得て、さぞ本年もすばらしいステージがくり広げられることでしょう。エネルギーあふ演奏が聴衆の皆様へ深い感銘を与え、と共にマンドリン音楽の良さを知って頂けます様希い願っております。

そして、今後共ご一同が飯島先生を囲んで合和し豊かなご発展を続けてゆかれます様、はるかより祈り上げております。

昭和48年秋

城山にて

山梨大学マンドリンクラブ顧問

牧野 洋

近頃、学生の気質がだいぶ変わってきて、クラブ活動のまとまりが悪くなったと言われている。役員だけがやきもきして、一般の部員はついてこないというのである。

だが、すこし離れた立場に居る僕などから見ると、全員が役員だった古き良き時代を除けば、そういうことは昔からあったのである。去年の役員も、一昨年役員も同じことを言い、先輩になると皆「俺達の頃にはそんなことはなかった」と言った。

クラブの運営などというものは、そんなに神経を使ってやるものではなからう。運営するためにクラブがあるのではない。マンドリンを弾き、ギターを楽しむためにマンドリンクラブはあるのであろう。

定演良ければすべてよし……それが音楽サークルのあり方である。そして、今年の定演もまた成功して欲しいものである。



◇新規免許取得コースから

ベテラン運転者の安全診断まで◇

ドライバー総合教育センター

湯村自動車学校

甲府市塩部二丁目2-15
電話 甲府 (0552) 52-2333 代

紹介

比留間 きぬ子 先生

我が国マンドリン界の最高権威者で、東京に「比留間マンドリン音楽学院」を開いておられ、兵庫県芦屋市にも教室をもたれて関西の人々への指導にもつくされております。又一方、ラジオ、テレビ、映画音楽など非常に多方面に御活躍中です。

先生はこのマンドリンという可憐な楽器に私達が深い理解と愛情をよせるように常に教示されます。先生は山梨大学マンドリンクラブ常任指揮者飯島国男の師にあたり、梨大マンドリンクラブを御指導下さっております。



飯島 国男

マンドリンを比留間きぬ子、ヴァイオリン及びヴァイオラを福井直弘、チェロを中島方、指揮を沖不可止に師事。

昭和23年 飯島マンドリン四重奏団結成

昭和26年 飯島弦楽四重奏団結成。

昭和30年2月 JOKG管弦楽団設立、常任指揮者となる。

4月 NHK オーディションに合格。

10月 松竹映画「新婚白書」の音楽担当。

12月 オペラ「手古奈」上演。編曲並に指揮。

昭和31年 労音の招きに全国各地を演奏旅行。

昭和32年 山梨県全域の音楽団体を統合、横の連結機関として山梨音楽文化連盟が結成され、理事長に就任。

昭和33年 オペラ「鷹の泉」上演。編曲並に指揮。

比留間マンドリンアンサンブルの客員として、ラジオ、テレビ、レコード等に活躍していたが、現在は山梨県下のプレクトラム音楽普及並に指揮に尽力している。

(日本マンドリン連盟関東支部委員 日本弦楽指導者協会会員)



“季節の味”

カキ料理 始めました

ビーフステーキ・各種バーベキュー好評です。♪

営業時間 11:30 ~ 9:00

休日 毎月第2・第4月曜日

※ 勤労青年センターに「カバリエ」も御座居ます。

cavalier
Restau
rant **カバリエ**

山梨県甲府市中央一丁目6-6
(丸忠ビル二階)

TEL (35) 5151

～ MANDOLIN ORCHESTRA ～

指揮 玉上俊司

Ouverture in Fis-moll Op. 2..... K. Wölki

<序曲嬰へ短調>

交響詩“北夷” Op. 26..... 鈴木静一

～ BAROQUE ENSEMBLE ～

指揮 玉上俊司

La Musica Notturna delle Strade di Madrid..... L. Boccherini

<マドリツドの夜の音楽>

Konzert in G-Dur für Solo-Mandolin und Zupforchester A. Vivaldi

<ソロマンドリンと弦楽の為の協奏曲ハ長調>

第1楽章 Allegro

第2楽章 Largo

第3楽章 Allegro

Solist 小倉一夫

La Pesarese <Overture>.....G. Filippa

<ラ・ペザレーゼ>

Armor <Grand Fantaisie Concert>..... H. Bert

<アルモール>

Antico e Moderno <Sinfonia>.....G. Manente

<今 と 昔>



<<<BAROQUE ENSEMBLE MEMBER>>>

◎ Solo Mandolin

小 倉 一 夫

◎ Mandocello

飯 島 徹 笠 原 俊 男

◎ 1st Mandolin

長 島 進 後 藤 正 彰
佐 野 ひろみ 竹 内 章

◎ Guitar

(Solo) 近 藤 勉 鈴 木 康 仁
池 上 清 春 小 野 隆 光
市 村 智 子 今 井 上 枝
志 村 永 子 成 島 香 代 子

◎ 2nd Mandolin

斉 藤 昭 子 布 引 英 夫
岩 田 直 行 風 間 美 恵 子

◎ Bass

小 林 誠 一 郎

◎ Mandola

藤 井 清 孝 水 野 博 文
広 谷 耕 作 山 本 真 佐 子

序曲 嬰へ短調

コンラッド・ヴェルキは1904年12月27日ベルリンに生まれ、12歳の時、王室少年合唱団の一員になる一方、合唱・器楽音楽理論の指導を受けて1924年20歳の時処女作品の序曲第1番イ長調を発表しました。1939年にはドイツ音楽教師委員会に於ける国家試験委員になり、アカデミーの音楽と国民音楽とを結びつける為の仕事に心をかけ、1962年から1966年にかけてベルリン国立音楽学校の青年音楽指導者のためのゼミナール指導を勤め、ドイツ民族音楽の研究と発展のための中心的功労者として評価されています。

さて今夜はこのヴェルキの序曲第2番嬰へ短調を演奏いたします。Andante Sostenutoの序奏の最初は、マンドラとマンドチェロによるドイツ的な重い、どっしりとしたメロディーで始まり、そのあとを1stマンドリンが受けて高音部の音でやさしく歌い、それをさらに2ndマンドリンがオクターブ下の音で受けます。メロディーにエコーを響かせながら序奏の部分で1つのクライマックスを迎えたあと、曲は静かになり、Allegroに入る。

Allegroでは序奏のメロディーが展開、発展してゆきます。高音部パートと低音部パートのかけ合いが随所に見られます。

百年前の建物が現在でもりっぱに使えているという、ドイツ人の堅牢堅固な国民性を象徴していると言えましょう。

交響詩 “北 夷”

鈴木静一は、明治37年11月12日生まれで大正11年東京プレクトラム・ソサイエティを創設、会員となり大正14年「山の印象」Op. 1を作曲、15年2月の同ソサイエティにより初演された。更に同年5月に「人魚」Op. 2を発表し、昭和2年より東京マンドリン協会指導者となられた。その間、武井守成氏の主催されていたオルケストラ・シンフォニカ・タケイ(O. S. T.)の作曲コンクールに昭和2年には「空」、昭和3年には、私達が演奏いたします「北夷」が入賞し、その後も作曲活動を続けられましたが、大東亜戦争に突入すると共に氏は、映画界に入ってしまった。その後、氏の旧友の勧めで再びマンドリン界に復帰され、旧友の死を悼む「レクイエム」を作曲されて以来次々と新作、大作に取り組みられると同時に、旧作に手を加えられ、現在先生の作品は円熟の極致に達している。特に、1967年、8楽章より成る大曲「シルクロード」の発表は、氏の名を世界のマンドリン界に高める事となる。今夜はO. S. T. 主催の作曲コンクールに第2位に入賞したこの交響詩 “北夷” Op. 26を演奏いたします。

灰色の霧が意地悪く北海道の天地を蔽い置している中を汽車がのろのろ走り出す。マンドリンの割切れない不協和音の霧の描写から始まり、 “しづく” を思わせるギターは僅かに単調を破る。霧は薄れかけてはまた濃くなる。そのうちいつとはなく汽車の速度が速くなり、霧も薄れて来た。速くなる汽車一薄れる霧。作者の北海道に対して抱いていたイメージである “追分” のモチーフが大きく膨らみ、晴れる、晴れる、いとわしい霧から脱出だ！ 曲は、雄大で原始的な北夷の魅惑に憑かれた男の、その歓びを歌いやがて静かになる。ギターの単調なリズムの中を第2主題がOboeにより奏される。衰滅の一途を迎える原住民の哀歎を物語る。これは発展し、展開して “追分” のモチーフを引き出し、大和民族の侵入によるアイヌ原住民の悲劇を歌いあげ、再び曲は静かになる。Mandolaがすぐ第1主題を奏し、これと追分のモチーフが互いに呼び交し、影響し合い第1主題の復帰を暗示しつつ、急迫し、極点で第1主題が北夷の大自然讃歌として歌いあげられ、北夷に憑かれた男の歓喜を力一杯絶叫し、この楽詩は終る。

<MUSIC FOR THE PEOPLE>

ミュージック ショップ

サンリン

甲府市丸の内2-15-14

TEL 0552-24-6226

寿司と御食事の店

伊津美

御会合・無尽会 等御座敷を御利用下さい

TEL (52) 5442

マドリードの夜の音楽

作者ボッケリーニは、大チェリストで作曲家。1753年2月19日、イタリアのルッカに生まれ、1805年5月28日スペインのマドリードで死去した。彼が時代を同じくしたハイドンと並び交響曲の範囲を拡大した事はよく知られているが、彼自身ギタリストであり、ギターのための作曲家であった事はそれ程知られていない。彼が作曲家として名声を得てプロシア王ヴィルヘルム2世から年俸を受けている間は良かったが、その崩御にあつて忽ち窮してしまった。けれどもギターの優れた奏者であったベナヴェンテ侯爵という友を得てギターを学ぶようになった。侯爵はボッケリーニに彼の凡ての管弦楽奏にギターを加えるように依頼され、出来上ると作者と侯爵がギターを弾いて特別演奏会が催された。

本曲は、原曲である弦楽五重奏（ギターを含む）の主題をこの「マドリードの夜の音楽」に使い、それを変奏させたものである。

Maestoso 4分の2拍子のこの曲の最初は、ギターにより主題が奏される。静かに歌い出し、途中から1st マンドリンの優雅なオブリガートが入り、その後表情豊かに1st が旋律を歌う。それにマンドラの速い分散和音が走り曲は、*f*, *ff*と移行し、主題の変奏をしてゆく。旋律が2nd マンドリンに移って変奏を続け、前の変奏が復帰して終りに近づく。再びギターの旋律が静かに歌い、軽やかなリズムによって最終の変奏曲に入り、曲はゆっくり、消える様に終る。

ソロマンドリンと弦楽の為の協奏曲ハ長調

アントニオ・ヴィヴァルディは、1678年ヴェニスに生まれ、ヴァイオリンの名手として、又、音楽教育者として有名でした。作曲家としては、コレリ以来の巨匠として尊敬された。彼は父からヴァイオリンや作曲法を学びとった。

彼は稀に見る多作家で各種楽器のための協奏曲、ソナタ、重奏曲、オペラ等、その実数は明らかではないが、大体の数は協奏曲約150曲、ソナタ18曲、三重奏曲12曲、オペラ38曲で、その他沢山あるだろうと言われている。

協奏曲の三楽章制と言う鉄則は、ヴィヴァルディが制定したものである。直接には彼の音楽はバッハに連なっている。バッハは彼の作品に驚倒し、彼のヴァイオリン曲をピアノ用に編曲した事は有名である。

ヴィヴァルディの数多い作品は幸運にも大部分今日まで手稿で保存されている。すべてが名曲と言うわけではないが、その中の重要な曲は、出版されて今日に至るまで芸術的命脈を保っている。

さて、今夜演奏いたしますこのマンドリン協奏曲は、ヴィヴァルディのもう一つのマンドリン協奏曲、2つのマンドリンと弦楽の為の協奏曲ト長調と並んで、プレクトラム音楽のバロックものとして、よく取り採られるものである。潤沢な音の響きを聞かせてくれる点では他の曲に引けをとらない。

第1楽章 Allegro 4分の4拍子

テュッティ主題は、極く単調なリズムの繰り返して構成されている。いかにもイタリアの明るさを持ったバロックという感を受ける。ソロとギター、あるいはマンドラとのデュエットの部分はソロが華やかに歌い、つやのある響きを聞かせてくれる。

第2楽章 Largo 4分の4拍子

この楽章は、終始同じリズムで進行する。しかしその単調なリズムに秘めた旋律は、自然と人の心を揺さぶるものを持っている。たった19小節の楽章である。

第3楽章 Allegro 4分の2拍子

最後の楽章、音の動きが1楽章より大きくなり、華やかさを増す。バロックのはきれよい音の響きを聞かせます。

書棚物品棚

オカムラ・イトーキの

正直堂

ビジネスの
未来に取組む



株式
会社

正直堂

本社 甲府市中央二丁目(八日町通り)
TEL (32) 3611 (代)
ショールーム 本社前 ゆもとビル内
吉田出張所 富士吉田市上吉田3834(金鳥居東)
TEL 0555 (3) 3285 (代)

世界のソニー

電子計算機

ソニー卓上

スチール家具と事務機

ラ・ペザレーゼ

今世紀初頭のイタリアの作曲家、ジュゼッペ・フィリッパは「町の祭典」や「山国の婚礼」を書いたヴィットリオ・フィリッパの父親で、本曲の他に「滅びし国」、「四旬節の謝肉祭」、「怯える小鳥」、「懐しき追憶」等の佳曲を書いている。

ペザレーゼとは「ペザロの町の人々」或いは「ペザロ気質」と言う様な意味である。ペザロは、アドリア海に面したイタリアの町で歌劇「セビリアの理髪師」、「ウィリアム・テル」等で著名な作曲家ロッシーニの生地である。ペザロ市民はこの事を誇りとし、ペザロ気質というものを大切にしている。作者は、之に敬意を表して作曲し、ペザロの町に捧げた。従って本曲にはロッシーニの歌劇「セミラミーデ」の一節を思わせる箇所が随所に現われる。1899年に発表された。

この曲は大きく3つの部分に分けられる。

第1の部分は、ティンパニーのソロで始まり、その後すぐユニゾンで最初のテーマを奏す。曲は一たん静かな感傷的な旋律に戻り、マンドリンのダブルノートによって高揚し、低音部パートがフォルテシモで2小節入る。このあと前のダブルノートから同じ様に繰り返された後、一番最初の旋律が復帰、発展して第2の部分に入る。

第2の部分は8分の6拍子 Allegretto con spirit でギターとベースのリズムにのってマンドラ、マンドチェロが con sprit (元気に、生々)とで入り、それが1st、2nd マンドリンにエコーしてゆく様子は非常に心地よい。旋律はギターに移り、そのギターの旋律と同じ旋律を1stがすぐ後で受けて曲は発展してゆく。Scherzando に入って転調し、諧謔的に歌った後、ピアノシモで表情豊かな旋律を奏して曲は進行する。特徴あるリズムに旋律をのせてクレッシェンドし、低音部と共にフォルテシモで曲は続く。この後 Scherzando からの部分を五度音程高くしてそのまま曲は高揚し、大きく rit. がかかって最後の部分に入る。第3の部分は、Maestoso で曲の冒頭の部分2小節を変奏したのち、すぐ Allegro Vivo に突入して曲は終る。

特徴あるリズムに加えて、マンドリン、マンドラの中音高部と、マンドチェロ、ギター、ベースの低音部との呼び合いに特徴のある曲である。

アルモール

この曲は、独立した6つの部分より成り、それぞれに副題がつけられています。

ブルターニュの朝—ギターの鐘を思わせる低音と、アルペジオにのせて1stマンドリンが朝の静かな雰囲気歌います。しだいに旋律が強く高音部に移行し高揚してゆき、急に静かになり、ドラとチェロのスタッカートによる美しい和音に余韻を含ませて、消える様にして終ります。

ヤンの舟唄—舟唄は、普通ヴェネツィアのゴンドラの舟唄を指します。8分の6拍子の、ちょうど權をかくリズムになっていて、旋律を聞いていると舟に乗って揺られている様な気分させられる、まさに舟唄の典型と言えます。中間部は転調し、速度も速まり、なお軽快に歌い、再び最初の旋律に戻った後、そのまま次の「乗合馬車」に入ります。

洋食・喫茶
近江牛肉コーナー

レストラン **コンソリ**

丸の内一丁目 電話 33-3135



まごころを伝えたい時…
いつでも、どこへでも
あなたに代って
お花をお届けします！

オリオンフラワー

保坂勝美

甲府・オリオン通り角
TEL 甲府 (0552) 33-9934・24-3646

乗馬車一舟唄の旋律から急にテンポが速くなり、馬車が出発する時のラッパを模した管楽器の2小節の序奏の後、マンドリンの旋律が、いかにも馬がギャロップしている感じで曲は軽快に進み、マンドリンと管楽器が静かに呼応しながら、馬車が遠のく感じで次の牧歌に入ります。

牧歌・ヤンのロマンス—最初は、この部分の特徴づけてしまう様な五つの音による節を1stマンドリンにより奏せられて始まる。1stマンドリンが、感傷的にメロディーを歌い、低音パートがそれを包んでゆく形で曲は進行する。途中8分の12拍子から4分の4拍子に変わり、転調します。再び最初の旋律に戻り、静かに消える様に終わります。

雷雨—マンドラの無気味な三連符と、ティンパニーのトレモロによってマンドリンが鋭く断片的に入り、単調なリズムになって高揚します、ついに曲は爆発するが如く頂点に達し、三連符のリズムで各パートが鳴り響き、PPPからffへのクレッシェンドを重ねて無気味なすさまじい嵐を奏します。

終曲—Andante maestoso 8分の12拍子の終曲は、maestosoの文字通り、堂々と、雄大にこの曲の最後を全力をもって歌いあげられます。

今 と 昔

作曲家ジュゼッペ・マネンテは1867年2月2日イタリアのモルコーネに生まれ、1941年ローマに逝いたイタリアの作曲家。音楽家を父として生まれたマネンテは、王立軍楽学校を抜群の成績で卒業した後、軍楽隊長の職についた。この頃1896年に「交響的間奏曲」と共に序曲「今と昔」を作曲した。イタリアは全土を挙げてマンドリン音楽の興隆時代であり、彼も多大の関心を寄せ、四楽章からなる交響曲「マンドリン芸術」はマンドリン音楽の中でも至宝のものとされている。彼は、マンドリンのよき理解者であり、数多くの芸術作品が熟愛されている。

この曲の最初はマンドチェロによるAndanteのゆっくりした旋律で始まる。途中でマンドラがその旋律を受け継ぎ、潤沢な和音を聞かせて曲は進行し、今度は旋律が1stマンドリンに移る。ここで聞かせてくれる旋律の美しさ、和音の美しさは、弾く方も、聞く方も胸を打つ所である。曲はCantabileに入り、ギターのみさむリズムによって1st、2ndマンドリンが、悠々と歌い出す。この旋律も前と同様に美しい旋律である。ここまでのゆっくりした部分は昔への回想を表わしている。

曲はここでAllegro Brillanteに移る。ベースとギターのリズムに乗って1stマンドリンだけがまず華やかに歌い出す。この1stの旋律は演奏上非常に困難な部分でもある。途中から他のパートも加わり、全体が高揚してゆき、今度は低音パートが幅をきかせて、ffのまま進行する。ここで長調に転調し、Allegroの最初の旋律を変奏する。その後、Allegroの2番目の新しい旋律を1stの2人だけが歌い、ユニゾンになってから、この旋律を発展変化させながら曲は続く。再び最初の旋律が短調の形となって繰り返され、最初の旋律が変奏された後、第2主題がギターで歌われる。ユニゾンでさらに変奏され、第1主題が少し顔をのぞかしつつ曲は終りに近づく。

Sostenuto Grandiosoで第2主題が堂々と歌われAllegro Vivaceの8小節の序奏のあと、そのまま第2主題でコーダに突入し曲は終わる。

この曲は演奏が難しく、それでいて美しい旋律や和音を聞かせてくれるマネンテらしい作品である。

甲府市朝日二丁目19ノ8

寿司 魚 春

電話 (52) 5931 番

中国料理

孔 妃 園

武田通り(梨大前)

TEL 24-4636



YAMANASHI UNIV.
MANDOLIN CLUB
MEMBER

常任指揮者	飯島国男
正指揮者	玉上俊司
副指揮者	石川卓
コンサートマスター	小倉一夫
部長	小林誠一郎
副部長	飯島徹子
顧問	志村永子 牧野洋



◆ 部 員 紹 介 ◆

■ Ist Mandolin

- | | | | |
|-----------------|---------------|---------------|----------------|
| ◎小倉 一夫 (和歌山・工3) | 後藤 正彰 (静岡・工4) | 田副 直樹 (熊本・工4) | 佐野 ひろみ (山梨・教4) |
| 田島 愛江 (山梨・教4) | 斎藤 昭子 (山梨・教3) | 新崎 彦則 (沖縄・工2) | 竹内 章 (静岡・工2) |
| 藤本 均 (東京・工2) | 秋山 明美 (山梨・教2) | 鈴木 美里 (山梨・教2) | 三浦 一美 (山梨・教2) |

■ IInd Mandolin

- | | | | |
|----------------|---------------|----------------|----------------|
| ◎長島 進 (千葉・工3) | 岩田 直行 (三重・工4) | 布引 英夫 (島根・工4) | 窪田 清子 (山梨・教4) |
| 風間 美恵子 (山梨・教3) | 石川 卓 (愛媛・工2) | 田牧 圭二 (神奈川・工2) | 日向 菊夫 (山梨・工2) |
| 宮沢 伸治 (山梨・工2) | 深沢 京子 (山梨・教2) | 望月 政子 (山梨・教2) | 加藤 登志夫 (埼玉・工1) |
| 神崎 兼次 (山口・工1) | 坂牧 久哉 (静岡・工1) | 朝比奈 恵美 (山梨・教1) | 雨宮 登志子 (山梨・教1) |
| 今泉 芙美子 (山梨・教1) | 小林 和美 (山梨・教1) | 小林 裕子 (山梨・教1) | 金丸 泰子 (山梨・教1) |
| 古屋 志津子 (山梨・教1) | | | |

■ Mandola

- | | | | |
|----------------|----------------|---------------|---------------|
| ◎藤井 清孝 (兵庫・工3) | 猪早 逸郎 (京都・工4) | 広谷 耕作 (石川・工4) | 水野 博文 (愛知・工4) |
| 山本 真佐子 (山梨・教3) | 大竹 ますみ (山梨・教2) | 坂田 久行 (熊本・工2) | |

■ Mando Cello

- | | | | |
|---------------|---------------|----------------|---------------|
| ◎飯島 徹 (島根・工3) | 鈴木 時治 (静岡・工4) | 笠原 俊男 (神奈川・工4) | 小島 昭一 (愛知・工2) |
|---------------|---------------|----------------|---------------|

■ Guitar

- | | | | |
|----------------|----------------|---------------|---------------|
| ◎近藤 勉 (愛知・工3) | ○鈴木 康仁 (静岡・工3) | 池上 清春 (大阪・工4) | 小野 隆光 (静岡・教4) |
| 河野 多鶴子 (山梨・教4) | 市村 智子 (山梨・教3) | 今井 上枝 (山梨・教3) | 志村 永子 (山梨・教3) |
| 成島 香代子 (山梨・教3) | 井上 照美 (山梨・教2) | 斎藤 博 (千葉・工2) | 坂本 弥生 (山梨・教2) |
| 宮地 信雄 (静岡・工2) | 河西 邦人 (山梨・工1) | 小林 千春 (長野・教1) | 小松 昌子 (山梨・教1) |
| 斎藤 充弘 (神奈川・工1) | 鈴木 田鶴子 (山梨・教1) | 中西 照夫 (東京・工1) | |

■ Contrabass

- | | |
|-----------------|---------------|
| ◎小林 誠一郎 (東京・工3) | 波多野 至 (島根・工1) |
|-----------------|---------------|

■ Percussion Instruments

- | | | | |
|----------------|---------------|----------------|---------------|
| ◎小松 一博 (兵庫・工4) | 日向 菊夫 (山梨・工2) | 玉上 俊司 (神奈川・工3) | 河西 邦人 (山梨・工1) |
|----------------|---------------|----------------|---------------|

■ Flute

- | | | |
|---------------|--------------|----------------|
| ◎山本 隆 (山梨・教3) | 西沢 昭 (愛知・工4) | 三井 香代子 (山梨・教1) |
|---------------|--------------|----------------|

■ Oboe

- *相沢 和夫 (山梨・工4)

■ Clarinet

- *相羽 聡 (静岡・教2)

■ Faggot

- *梶村 英樹 (島根・工2)

* 賛助出演 山梨大学管弦楽団

以上 73名

◎各パート首席奏者

○次席奏者

Conductor

お客様は神様です…と言いつつ、演奏中ずっとお尻を向けている失礼千万な人…それが**Conductor** なのです。

別に顔に自信がないからではないのです。わがマンクラ、交通の運ちゃんたる彼は、ハンドルのかわりに、指揮棒を持って、われわれクラブ員が定期演奏会まで無事にた

りつけるように、夜も寝ずに昼寝して、日夜、神経をすりへらしているのです。常に乗客である、われわれの不満をぶつけられ、それにじっと耐えてきた。じっと我慢の子…そんな彼の年に一度のハレスガタ。見てやってください。聞いてやって下さい。



1st Mandolin

1st は、よく唄うパートです。

いつも自力で唄って表現する為とその演奏態度も意欲的で演奏に夢中になると自然に体がゆれ動いてくる傾向があるようです。

“幻想的な演奏”を夢をもってマンドリン音楽を創り上げていく。そんな私たち11名の情熱が、オリジナルの大曲の中にどれだけのものを表現できるか。技術的にもまだまだ未熟なものにとっては未知の段階です。

しかし指揮者が送る風にゆられてなびく稲穂のように演奏ができれば幸いです。



2nd Mandolin

何といっても梨大のマンクラで一番活気があるのは**2nd** であります。総生21人がかなでる音楽は芸術といきましょうか、喜び、悲しみを歌いあげるのであります。手取り、足とり、それに座ぶとんまで取っていくパートリーダーを筆頭に**2nd** はうでききばかりをそろえています。美男美女の4年生。とっても親切的な3年生、活気にみちあふれる2年生、それにとっても将来性のある一年生が**1st** の後おしをしています。



豆菓子・おつまみ専門の店

たのしい旅行に
ハイキングに
袋詰も調製致します

三枝豆店

甲府市中央桜本通り TEL (33) 5913

Mandola

聞こえてきませんか？舞台の中央から、どこかで聞いたことのあるあのなつかしい音色が。そう、それがドラなのです。

我らが愛する楽器は、マンドリンオーケストラにおいて、中音域を受け持ち、それ独自のすばらしいメロディーと、ときには曲の主題をファースト・ギターと共にオクターブ違えて弾いております。男性5人のかなでる音色は恋人への甘いささやきと、男性的な力のある雄々しさを、女性2人のそれはオチャメな女の子のかわいらしさと原始、女性の神秘的な強さを表わしております。

さあ、心ゆくまでお聞き下さい。リーダーを始め7人が、同じ曲にそれぞれの個性を秘めながら演奏するのを！！



Mandocello



チエロは、響き

それは母なる海の囁き、

チエロは、怒り

それは悪魔メフィストフェレスの叫び、

チエロは、喜び

それはヴィーナスの微笑

……………そんな感情を出せるようチェロパートは日夜、努力して来ました。

Guitar

ギターの音域はごく普通に聞かれる中音域で、それも余り広くなく、特別高い音も低い音もだせません。また音量もありません。

しかし、それらのことを補って余りある魅力がギターにはあります。それは音色です。人間味あふれる深く、暖い音色はギターの生命です。そのギターの音色に魅せられたギターパートの面々。少しでもいい音をと毎日練習に励んでいます。

胸に秘めた想いを、溢れ来る情感をギターに託す今宵の演奏・ギターパートに御注目！



軽食・喫茶（カレーライス、ラーメン、コーヒー、紅茶）

県民会館一階・スナック

沢田屋

-----Percussion Instruments-----



今年、ティンパニー、シンバル、トライアングル、タンバリン、すず、鉄琴を使って曲の飾り付けをします。とにかく、パーカッションは音が目立ちます。シンバルを打つ小節が近づくと、もうドキがムネムネ？いやムネがドキドキです。タンバリンのピアノシモからのクレッシェンドは極度の緊張状態です。トライアングル1つにも音色を考えて打つ場所を決めます。ティンパニーは、2つの太鼓を打ち分けるのに一苦労です。見て下さい。メガネをかけているあのティンパニー奏者。あだなをカップと言います。彼は、曲をテープに吹き込んで、それをヘッドホンで聞きながら何回も何回も練習したんですよ。フーフー言いながら。簡単な様で、非常に難しいパートです。極度の緊張状態に甚え得る質実剛健な男のパートです。毎回毎回、手に汗をにぎって練習を続けて来た成果をとくと御覧あれ！！

-----Wind Instruments-----

Flute :

ステージの中央で全パートを見下ろしながら雄々(?)演奏しているのがこのパート。いつもはあまり目立たない存在であるが、合奏の時にはやっぱり必要となるのがこのパート。

1st mandolin のメロディーに乗って、美しい音色で演奏するのがこのパート。

今回は、“Fis moll”と“北夷”それに“ARMOR”で大活躍します。

マンドリンクラブの中におけるFlute の存在が、皆様に少しでも御理解願いましたら幸いです。

——誰でも簡単に音が出せる楽器、それはフルート。

でも、それで音楽を表現しようとするには最も難しい楽器。——



-----Contra Bass-----

ん？……
 よくおぼえてないわ
 そんな小さい頃の私
 でもね
 ずうとむかし
 みずいろの浜べで
 白やピンクや
 むらさきの
 貝がら拾って
 あそんでいた日が
 あったような……あれ
 やっぱり夢だったかし
 ら？
 そんな思い出を
 大切にす
 べースパ
 ート

入 院 応 需

橘 田 耳 鼻 咽 喉 科

院長 橘 田 馨 副院長 橘 田 豊 雄

甲府市中央二丁目12の28 TEL (37) 3387~8

ギター専門店 **横森ギター研究所**

甲府市幸町28-17 もしもし 33-9984

楽しく学ぶギター教室

- ◇ 小、中、高生、奥様歓迎
- ◇ 基礎から楽しく学びましょう
- ◇ やさしい楽譜をマスターしましょう

練習日 水曜日 AM10-PM5時
木曜日 PM3-PM5時 入会金 ¥ 1,000
土曜日 PM1-PM5時 月謝 ¥ 2,000

外科・整形外科・胃腸科
レントゲン科・肛門科

箭 本 外 科

院長 箭 本 巖

甲府市北口三丁目1-1 (YBSの東)

TEL (53) 3532~3

寿 司 ・ 割 烹



コンパの御用命は

良心的な

かどや

 へどうぞ

甲府裁判所東

TEL 35-3351(代)

甲府市朝日通り

古 屋 眼 科 医 院

古屋コンタクトレンズ研究所

TEL (52) 3305

昭和36年11月 小林伸吾氏等精密工学科有志11名により発足。
 昭和38年11月6日 第一回演奏会 (於・学内)
 ・ドミノ ・小兵士の行進 ・フォスター歌曲集
 ・ボルガマーチ ・郷愁 その他
 昭和39年11月8日 第二回定期演奏会 (於・山梨県民会館)
 OUVERTURE IN D-DUR..... Konrad Wölki
 LA VALLEE MAUDITE.....Menichetti
 ミレーナ..... Maciocchi
 山 峡.....川崎貞利
 その他
 昭和40年11月6日 第三回定期演奏会 (於・山梨県民会館)
 オラッチオとクリラッチオ兄弟.....D. Cimarosa
 ト調のシンフォニー..... G. Domenico
 序曲レナータ..... Levitorano
 小交響曲 マンドリンの群れ..... C. A. Bracco
 その他
 昭和41年5月28日 県民会館10年祭り賛助出演
 オラッチオとクリラッチオ兄弟.....D. Cimarosa
 山 獄 詩.....M. S. Salvetti
 ミレーナ..... Maciocchi
 序曲レナータ..... Lavitorano
 その他
 昭和41年11月12日 第四回定期演奏会 (於・山梨県民会館)
 バグダッドの大守..... F. A. Boieldieu
 組曲 山の印象.....鈴木静一
 ハンガリア舞曲 第5番, 第6番.....Joh. Brahms
 その他
 昭和42年11月5日 諏訪特別演奏会 (於・北沢会館)
 昭和42年11月11日 第五回定期演奏会 (於・山梨県民会館)
 OUVERTURE IN A-DUR..... Konrad Wölki
 ローマ・トリノ..... D. Giovanni
 小交響曲 マンドリンの群れ..... C. A. Bracco
 その他
 昭和43年11月9日 第六回定期演奏会 (於・山梨県民会館)
 Eihe Kleine Nachtmusik..... W. A. Mozart
 Bizet Klanken.....arr by J. Linard
 Loreley Paraphrase..... S. Ranieri
 序曲 水車小屋の乙女たち..... M. Maciocchi
 地獄谷の一夜..... F. Jullian

序曲 レナータ..... H. Levitrano
 その他
 昭和44年6月22日 都留演奏会 (於・都留市市民会館)
 OUVERTURE IN A-DUR..... Konrad Wölki
 漁村の一夜.....中野二郎
 序曲レナータ..... H. Levitrano
 その他
 昭和44年11月8日 第七回定期演奏会 (於・山梨県民会館)
 過去への尊敬..... L. M. Vogt
 悪魔の囁き..... M. Maciocchi
 OUVERTURE IN H-MOLL.....K. Wölki
 組曲 人魚.....鈴木静一
 その他
 昭和45年10月24日 静岡演奏会 (於・静岡県民会館)
 昭和45年11月7日 第八回定期演奏会 (於・山梨県民会館)
 バグダッドの大守 序曲..... F. A. Boieldieu
 ペルシアの市場にて.....A. W. Ketelbey
 アイネ・クライネ・ナハトムジーク
W. A. Mozart
 ローラ序曲..... H. Lavitrano
 夜の印象..... D. DE. Giovanni
 メリアの平原にて..... G. Manento
 その他
 昭和46年10月30日 静岡演奏会 (於・静岡県民会館)
 昭和46年11月6日 第九回定期演奏会 (於・山梨県民会館)
 OUVERTURE IN RE-MINOR.....S. Falbo
 海の組曲..... A. Amadi
 朱雀門.....鈴木静一
 序曲レナータ..... H. Levitorano
 小交響曲マンドリンの群れ..... C. A. Bracco
 その他
 昭和47年11月11日 第十回定期演奏会 (於・山梨県民会館)
 過去への尊敬..... L. M. Vogt
 ペールギュント組曲..... E. Grieg
 管弦楽組曲第2番口短調..... J. S. Bach
 交響的前奏曲..... Ugo Bottacchiari
 エカープの嘆き.....N. Lavdas
 ハンガリアの黄昏.....Dino Berruti
 その他
 昭和48年10月28日 静岡演奏会 (於・静岡県民会館)

寝具製造 貸布団

大関わた有限公司

甲府市城東三丁目16-16 TEL (35) 6288 代

◀◀ クラブの近況 ▶▶

- 1972年12月17日 部内発表会
 12月22日 クリスマスコンパ
 1973年1月7日 新春もちつき大会
 1月15日 境川村成人式アトラクションに出演
 1月21日 スケート大会（八ヶ岳バンテスコープ）
 3月4日 追い出しコンパ
 3月9日 北巨摩 桂精機慰問演奏会
 4月3～8日 春季合宿（河口湖 常在寺）
 4月21日 オリエンテーション
 4月28日 新入生歓迎演奏会
 5月12日 新入生歓迎コンパ
 5月20日 新入生歓迎ハイキング（甘利山）
 6月2～3日 山梨大学大学祭 音楽喫茶「あざみ」開催
 6月16日 部内発表会
 6月24日 山梨大学チャリティー音楽会
 7月11～13日 一年生強化合宿（山梨市 子供の家）
 8月30～9月8日 夏季合宿（小室山 妙法寺）
 9月1日 部内発表会
 10月11～14日 秋期合宿（山中湖）
 10月28日 静岡演奏会（静岡県民会館）
 11月2日 第11回定期演奏会



（秋季強化合宿 於・山中湖）

♥ 恋のかうんせりんぐ ♥

アナタ

わたしのところからは
 あなたの姿
 よおく みえるのです
 ……………

でも
 あなたのところからは
 私の姿
 少しもみえないのですネ

そんなに私はちいさくて
 そんなにあなたは大きい
 というわけ

だから
 とうていムリな
 おはなしネ



カウンセラー

そんなことはありません
 私が伝えてあげましょう
 私は恋のキューピット
 あなたの
 好きな人のお名前は？
 ……………

許山胃腸病院

甲府市中央一丁目12-6

TEL 33 - 5107(代)

常磐ホテル

甲府市湯村温泉 TEL 甲府 (52) 1301 代表

石和温泉 トキワホテル TEL (いざわ) 4175
4176

下部温泉 常磐別館 TEL(しもべ)0326番

電子式卓上計算機・電子リコピー

スチール家具・事務用品

三機堂 株式会社

甲府市朝日五丁目12-6

TEL (0552) 53-0211 (代)

料理 平屋 齋

甲府市朝日二丁目・電(52)5656

国際観光旅館

ORIENTAL HOTEL

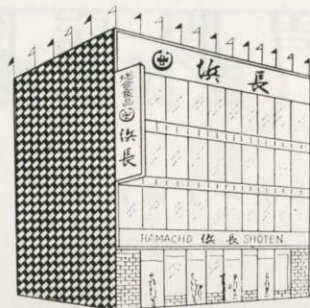
各種会合に御利用下さいませ

甲府丸の内一丁目 TEL 33-7188(代)

東洋館

グリル東洋館(地下)

甲府市中央一丁目 TEL 33-4188(代)
32-1906



促成野菜 珍味壺缶詰卸
料理用珍野菜 割烹諸材料
料理用妻物



有限
会社

俵長

甲府中央卸売市場東団地 本店・中央一丁目 TEL (33)0208(代)

編集後記



静岡演奏会のパンフの編集を終え、ほっとするもつかの間、すく目の前に定演のパンフのメ切り日が迫って来ている。今年こそはパンフの誌面の一斬を、という初めの頃の意気込みもどこへやら、なかなか集まらない原稿と迫って来るメ切り日の間にはさまれ四苦八苦。なんとか出来上がったものは例年と余り変わりばえのしないものとなってしまった。もっと早くから取りかかればよかったと思ったり、あそこはあしたの方がよかったのではないかと考えてみたり、反省することばかりである。いろいろ不備な点もありますがお気づきの点やいたらない所がありましたらご批判願います。

最後になりましたが、パンフ作成にあたり御協力して下さいました諸先生方、広告店主の皆様、印刷会社の皆様に心から感謝いたします。

編集・製作.....パンフレット係

近藤 勉
市村 智子
坂田 久行
井上 照美
鈴木 美里
河西 邦人
小林 千春
小松 昌子
斎藤 充弘
鈴木 田鶴子
中西 照夫

印刷.....温故堂印刷株式会社

●現代人の常識
ギターをひこう

ゼンオンギター

●ZG (クラシック)
●ZGG (ガット)
●F (フォーク)

ゼンオン

手工品ガット

ギター

◆中手 藤原 監製
◆黒沢宗三郎 監製

NHK教育テレビ
「ギター教室」
阿部 保夫先生監製

日本人の手に合ったギター
阿部ガットギター

AG-310	10,000円
AG-513	13,000円
AG-515	15,000円

発行者 全音 株式会社 全音 東京都新宿区東五軒町25
支店 全音 東京・大阪・福岡・札幌

和 装 苑

急 り 福

甲府市中央一丁目1-18

TEL (33) 7502

華麗な音の手工芸品

よいピアノが生まれる秘密は、
ひとつひとつの工程にあります。

デアパソソ

Ⓜ 浜楽商事株式会社東京営業所

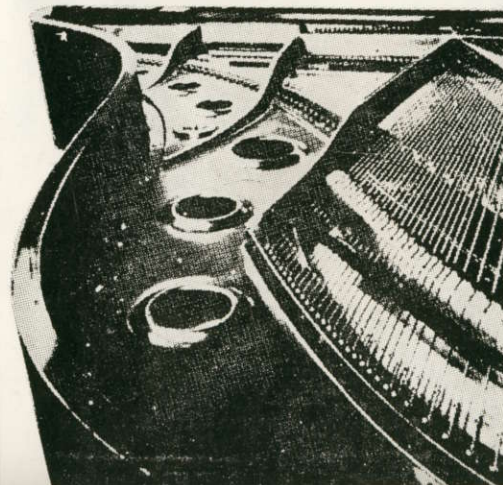
東京都渋谷区代々木1-36 (全理連ビル6F)

電話 (379) 1371

本社 品松市寺島町200 TEL (54) 2131 代表

支店 東京・大阪・名古屋・福岡・品松

山梨代理店 飯島楽器



【全館新築落成】
48年11月14日

レコード&テープ
県下唯一
全レーベル特約店

建築中は種々ご不便をおか
けしております。
新装開店をご期待下さい。

レコード
テープ
委託製作

◇手工品ギター・マンドリン◇
音のデパート

(贈りものに
レコード券を)

※社員募集中※

イイジマ楽器

甲府オリオン通り TEL 32-3345(代)